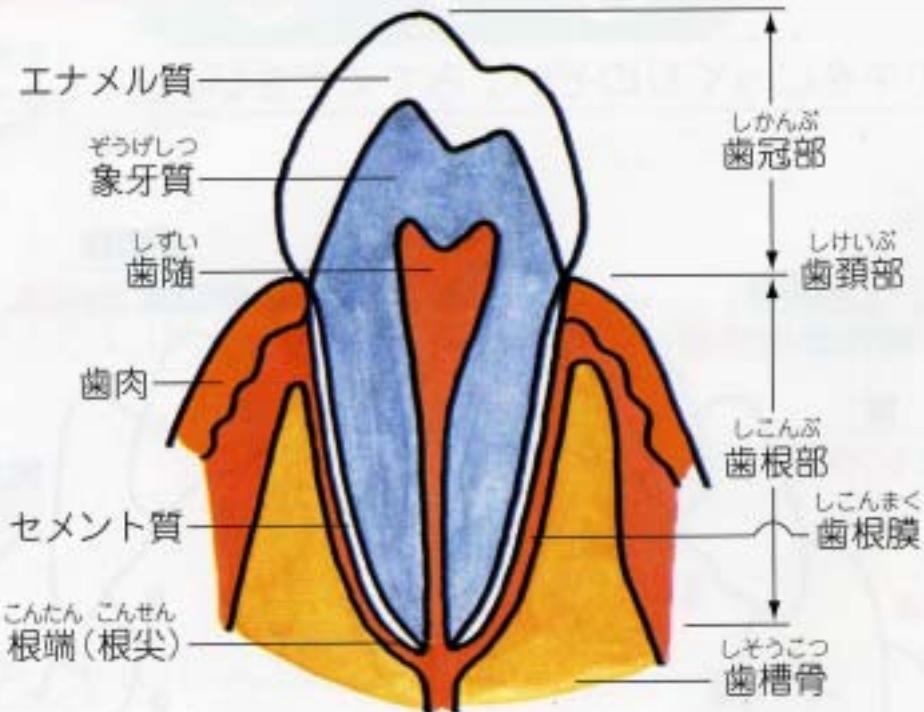


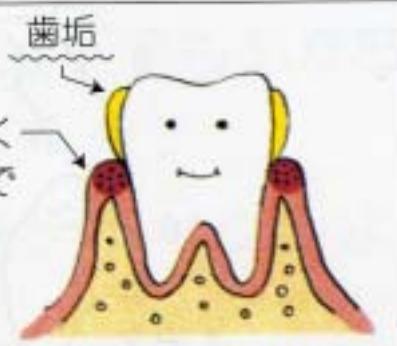
歯の構造



歯周病とは

歯の表面に付着している“歯垢”や“歯石”が原因となって、歯ぐきに炎症を起こし、それが進んで、骨などの歯を支えている組織がおかされ、膿ができる症状になったものを、“歯周病”といいます。

1



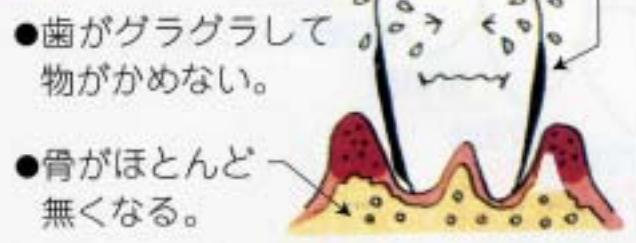
- 歯ぐきが赤くはれて血がでやすい。

2



- 炎症が広がり、血やウミができる。

4



- 歯がグラグラして物がかめない。
- 骨がほとんど無くなる。

3



- 骨の破壊、吸収がおこり歯ぐきがやせる。



健康な歯ぐき

歯ぐきはピンク色で、歯と歯の間も“キュツ”とひきしまっている。



歯肉炎

歯ぐきが赤くはれ、出血しやすい。



歯周炎

炎症がひろがり、血やウミが出る。また、骨の破壊・吸収が起こる。



正常なあごの骨



病的なあごの骨

こんな症状は要注意

- ① 歯ぐきが赤くはれている。
- ② 歯を磨いたとき、歯ぐきから出血することがある。
- ③ 口がくさいといわれたことがある。
- ④ 歯ぐきがブヨブヨとして、歯ぐきを押すとウミができる。
- ⑤ 歯がグラグラして物がかめない。